米利幹新誌

二

J-1574-2

米利幹新誌巻之二

角利伏爾泥亜

此地は新墨是可と。東紅海を隔て對崎する端島にして。その地形島山の如くに見ゆるにつき。増譯采覧異言などには一大島に作りたり。島にはあらず地續きにして。部内に暗得の支脈貫通せるをもつて。山の東西氣候同じからず。土人の食物も東部は玉蜀黍を常食とし。西部は鯨肉。牛。豕。鶏。蒸餅を喰ふ。この地方は伊期國人種多きが故に風俗すべて欧羅巴に類す。惣國人別一萬五千六百。五穀よく

産する地にして農業繁昌なり。此地むかしハ伊期國に屬す。近世ハ共和政治。新伊斯把泥亜と連合し。政官ハ其地より来り任すといふ

共和政治草分の話

今いへる共和政治といふ國の起元ハ。此域そのはじめハ唯茫々たる曠野なりし。名もなきところなりけるに我萬治六年にあたつて暎咭唎國の人をわたして。此地の南辺カロリナ國に人種を移して風土を試み。享保十九年に至りて。子ウヨルクおよびコン子クチキユツトの地に數百人の人種を移すところなれども當時ハなほ寂寞とさびしき寒郷なりし。語り傳へしるのみなりし。後數年英國の人民間々國法に背く者あり

是に於て。その人民男女數万人を捕へて。遠く此地にぞ流したる。その人民男女等飲食衣服の用に難澁ありといへども。まして此地に國主といふものなく懸令といふも無れば。竊にこれを喜び。その衆人と相談して山にハ山の利を考へ。川にハ川の利を考へ。田を開き畑を作り。陸にありてハ農業をなし。海に出てハ漁獵を専らとして年月をおくる間に。子孫殷く蕃衍後にハ三十餘万人におよぶ。生るところの物産もまして夥しく成行ば。遂にハ暎人も渡り來て交易をなすほどに至りたる。去るほどに我宝曆年中にあたりて。暎國に數年の合戰つゞきて大に人民を喪ひ。四方の交易等にも人足たらざりければ。從來北米利幹の者どもハ我暎國よ

り種なるところ暎領の人民に異ならず。是を雇ひて人足につかひしとて。暎人その地に船をよせてその旨を申渡せバ。衆こゝろ暎人の口を利くる狂人の如く無禮なるとて。雇銭の手薄なることを悪ミ。その命令にしたがふこゝろなし。暎人の乗来れる船に天竺より積来れる茶。三百四十二箱ありけるをとらへて。土人申合せその茶をことごとく流し捨たり。こゝにおゐて暎人憤りに堪ず。本國より軍艦数艘を發して此地の港一の馬頭を圍ミ。先その遠近の運送を妨ぐ。土人これがため大に困り此時既に此地共和政治の國合せて相互に助け合ふ國十三州あり。十三州ともに入札にて賢者を撰び政官とし。めい〳〵にその政官を會合して評定に

およびたるに。軍官名ハ話聖東。文官フランクリン席を進んで議して曰く和睦を請ハ我長く暎人の奴僕とならん意を決して交りをたつべく絶するハ如し。天の時ハ失ふべからず我ホ衆人とともに國のためにこれに死すべしとのゝしれバ衆みなその議に一決し心を合せて暎人を防んと欲せ。如是評議一決しけるを暎人も聞およびたるにや。まさに自分の云分もよろしからず戦つても利あらざるを知て。その圍みを解て去りぬ。我安永九年此地の政官暎人と會して云く。二三十年出入有といへども。我國君が使令を請るにあらざれバ我國ハながく天下諸侯の使令を請ず。獨立するべしとぞ約したる。其後國政いよ〳〵増長

る近隣の者迄も。同盟の諸人を聚め來會して附屬する者に至るまでも。近三十年に至りてハ各國学校を設け日ゝに經濟の学文を講習し。中にも子ウヨロクマスサノセッツ國の如きハ。巧なるハ一紀天文臺。羅甸学および數萬種の菓園を設けて学徒に教諭せしとなり

共和政治州三十餘國

其疆域北ハ新貌利太泥亜に接し。南ハ新伊斯國に至り。その東西ハ大洋に臨めり。域中もとハ八國ありしに次て十三州となり。近世又ましく加りて三十餘州となる。國主ハ酋長を立ず毎國賢者數人

を撰で政官とせらるゝ上にも及べざるが如し。故に土人數種ありて國々風俗同じからずといへども貴賤の差別あることなし。其地の南部は農業を本とし。北部は諸種の器財道具を作り。或は四方に交易して。欧羅巴諸國東西天竺諸島。または支那國唐土に至る。人口一千四百二十四萬にして域のうち亞墨利加州中の一部にありといへども。其地廣大にして人民も多。其勢ひ甚盛んなるをもつて今にいたりまかせて北亞墨利加州となれり。其地の通稱になることゝなる

共和政治附属二ヶ國

ロウイシアナ國は。もと伊斯國に屬し。後佛蘭西に併せられしが。我文

化元年に至り。佛蘭西千五百萬金の引員によつて。其地を割て長く共和政治に賣與ふ。北ハ未審の曠野に至り南西ハ西墨是可に接す。土地膏腴にして上好の五穀を産す又ミウレスシツピといふ大河有て夥しく鱗介を産す我文化中其洲を分て三大部とす毎部人口三萬二千餘。中に十二人の酋長有てその評へを聞といへり。首府をヌヲルレアンスといふ。人口三萬九千二百餘

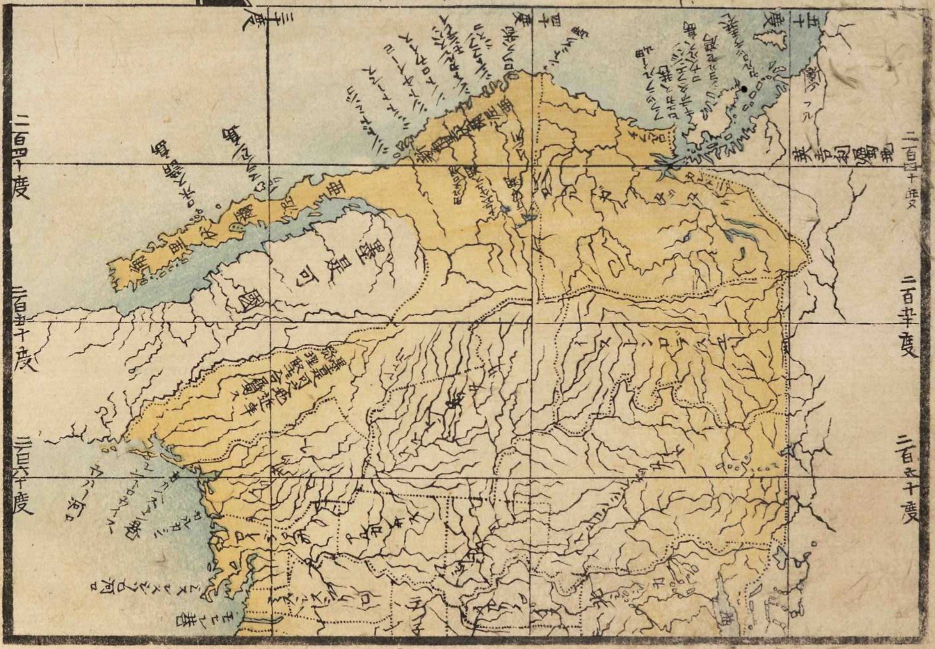
花地國。その首府をアウギスジンといふ人口二千餘。むかしハ其地の人盗賊あることを知らず。他國の人其地に来り住するもの。公然として人のものを竊ことなしとかや。今ハその風俗やゝ衰百年前暎人其地

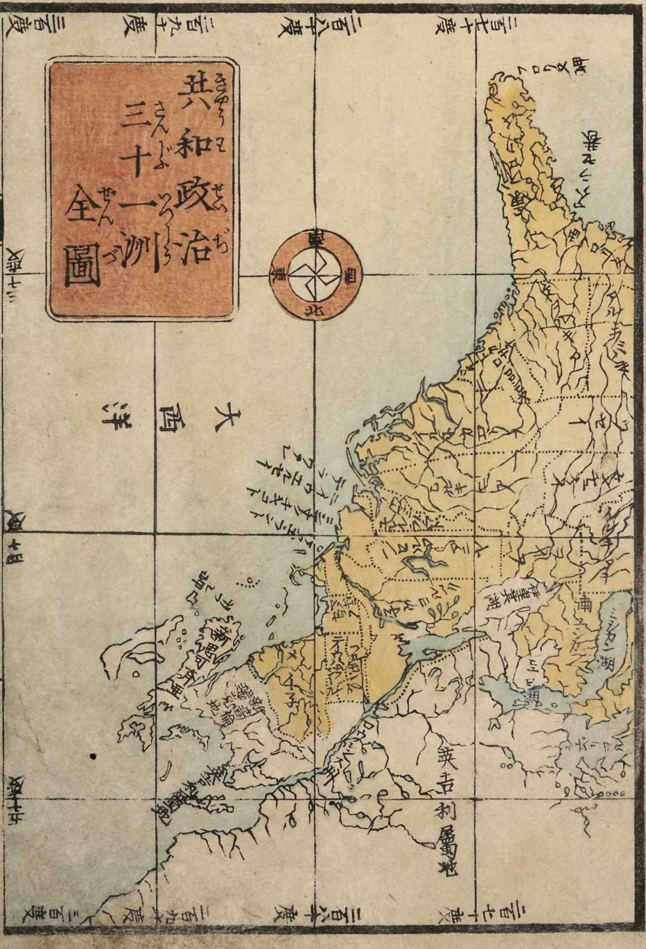
の西部を奪ひ掠めて其地を併有し。後三十年にして伊斯に復せしと云我文政三年の會盟より。此地のバルチト川より西を割て。長く共和政治州に附屬せしむる𪜈を約し

共和政治三十一國

一　マスキユセッツ
三　フルモート
五　コン子クチキクユト
七　ニイウエルセイ
九　ペンセルファニヤ

二　メイ子
四　ニイウハムプシール
六　ローデスヱラント
八　子ウヨルク
十　ケンチユケイ


三十度
二百四十度
二百五十度
二百六十度
墨是可國
英吉利屬地
二百四十度
二百五十度
二百六十度



共和政治三十一洲全圖

三百七十度
三百八十度
三百九十度
三百度
フロリダ岬
大西洋
伊里耳湖
ミシガン湖
英吉利屬地
東
西
南
北

十一 インヂアナ
十三 ヒルギニア
十五 テン子ッセイ
十七 ソイドカロリナ
十九 デラワアレ
廿一 ヨルレアンス
廿三 ロイシアナ
廿五 ノオルドウェストゲビイド
廿七 フロリダ

十二 マレイラント
十四 ヲロヲ
十六 ノウルドカロリナ
十八 ゲヲルギア
廿 ミスシスシッピ
廿二 イルリノイス
廿四 ミシガン
廿六 コリエンヒア
廿八 アルラバマ

廿九　アルカンサス　　卅　ヲ子ガン

卅一　ミスソウリ

此共和三十一州の總府を話聖東といふ世界名府の一なり其地形ホトウマック河の分支たる下流のところにあり海口を距ること我三十六丁一里にて七里三十一町餘我寛政三年の英雄話聖東此州を獨立の共和州となせし。その時にあたりて總國の首府となし。大政廳を置くべき地形を擇ぶに子ウヨルク府（人口十三萬）ホストン府（人口八萬）の如きハ繁昌の市場なれども大政廳をおき。征伐軍旅の大事を議し敵を防ぎ守禦を堅固にする形勢の地にあらじ。とくにあれて新に土木の役を起して

此府を造築し。是を諳聖東と名く。其府の廣袤我三十六町一里にて凡そ四里四方。市街ハ縦横に往還を通ず。道幅凡そ二十間余。其街數縦横各九十より百町に至る（凡そ和蘭の一里ハ五十六丁餘にして我一里〇二丁にあたる。暎國の一里ハ我十二町余にあたるとも。又十六丁にあるともいへり今地轉新圖の算によれバ我十四丁半なあつて一里として歟もちゐるものありや。また彼が二尺ハ我一尺〇二分強にあたるといへり。今ハことことく我國法に引直しくなるを）家造ハ西洋の時風に擬し。町々次序碁盤の目の如し。大政廳ハ高きところに建つ。その外の政所工作場及び囹圄の構も甚だ丈夫にして調さるところなし。其造築のはじめハ市街の人家もいまだ猶のむ。ものさびしくみえつるが我文化八年の頃に至りて人家數一千七百。人別九千二百におよび。その後ボトウマック河の彼岸なるカル

レストウン府。すべてこのあたりの大小村落に住する人數およそ二萬余口

ところなり。この歳教奉行より普く三十一國に觸渡し天文地理測量等の

学に通達せし者。數人を召出して是を用ひ。すべて大学校を建て生

徒を教導し。書林に命して奇書珍本を歐邏巴より買納しむ

我文化十年の頃に至りては。定數の政官より外に。新規に吏事に長

じたるものの。五人を擇で惣奉行大政官を補佐せしむ。惣奉行ハ共

和全州の一切の事を下知するを以て。その仕職いと重し。その人物を

擇むに先衆人の尊敬するところの人にして内外政所の評議を經

て衆望の歸するところをとる。かくて大政官の職に在ること六年に滿

れハまた原の農人となるもあり故に職に任ずる三年にして已に代るべき人物を撰み出し。後三年にして官を解くるなり。府の東辺に港脚あり。大船数艘を泊む。三十六年前より大金に價すべき品を此港より積出し。欧羅巴諸州に交易せんとしたるに我文化十一年彼の八月廿四日ころ話聖東の新府暎人のために乱妨せられ市街寺院大小政廳等の禍をうけざるハなし大損亡大かたならずといふ後数年を経てやうやくもとに復するを得たり。我天保五年の頃ハ人家三千四百。人口七萬餘におよぶといふ
共和政治海軍戦艦大数

一フレガツト船四十七隻其大なる者ハ迦農砲九十門を備ふと云

一スルウペン船大熕十八座を備ふるもの十七艘

一ブリツキ船大熕十八座のもの二艘

一スコウ子ル船熕口十二門より十四門に至るもの五艘

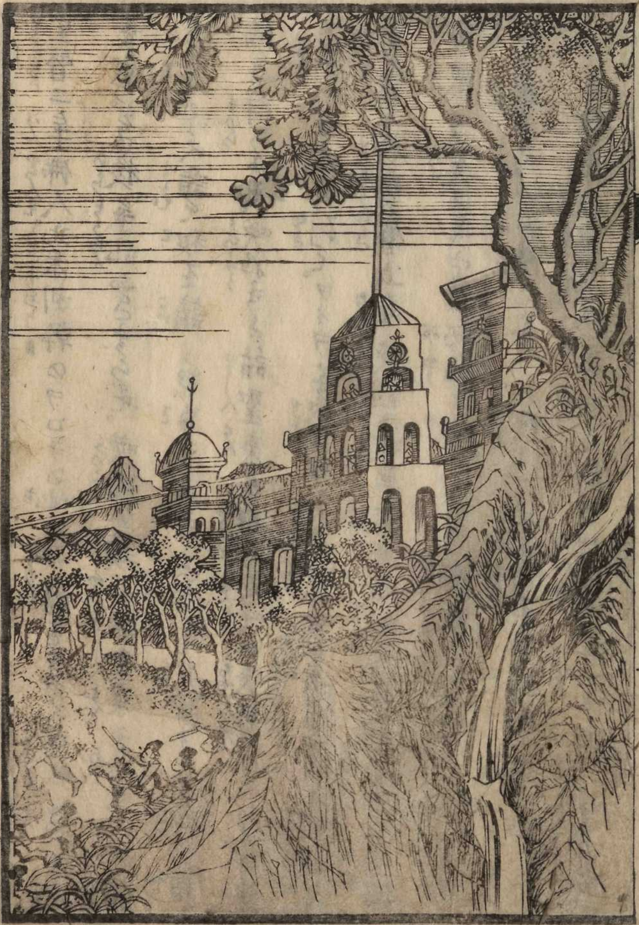
一ガレイエン船七隻

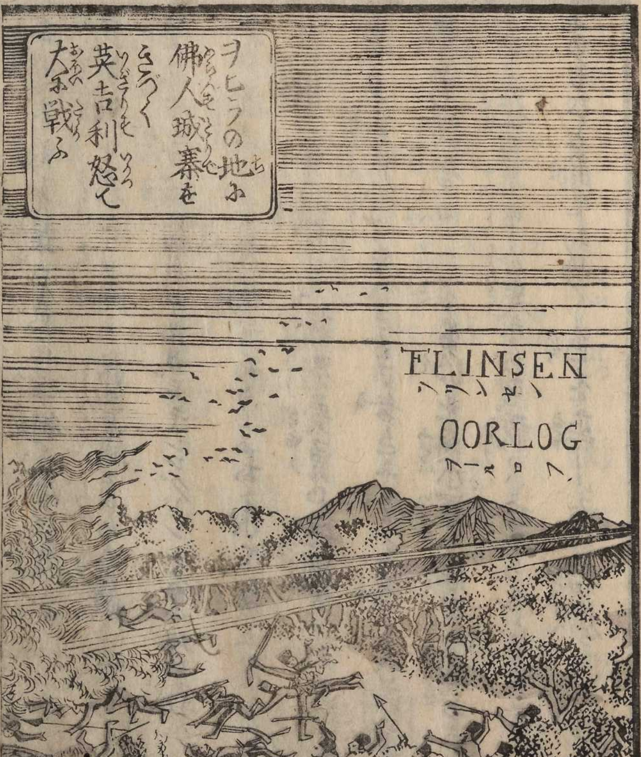
其船卒船奴を合して二万四千八百人。その手當推てしるべし。今もつとり年々月々に堅実の軍艦を造立。その諸船をつねに加拿太の大湖に繫ぎおきて。非常の備にせしとぞ。

諳聖東の傳

諾聖東。名ハ業阿尓熱。諾聖東ハ其姓なり。以て通称とす。諾聖東ハ北米利幹の府内にて士農商を併せたる豪族にして遂に上将に任じたり。當時諸豪傑雲の如く集り霧のごとく蔚なりしかども諾聖東その第一たり。諾聖東我享保十九年にあたりて共和國内ヒルギニア部内ファイルファキスの地に生る。父ハ其府の豪農祖父ハ英人。六十年前其國の乱を避て。此地に来り住せる者とかや。諾聖東幼にして父のおしへにしたがひ。ウイルリアムビユルク（地名）の学校に入る。諾聖東性明敏学業大に進み。最も天文地理度数の学に通ず。既にして府学を去り。田園にかへり耕種のいとまには戦陣の法を講ず。我

宝暦二年佛人。北米利幹のヲヒヲの地に城塞をきづく。暎人怒りて是を伐つ。その後争乱やまざりき。暎國の鎮将諸聖東に命じて。佛事大将のもとへ諭て。和を請しむ。然りならざりしかども是によりて敵の情偽を詳らかにせり。暎将また諸聖東を擢て巡哨の長官とし。ヒルギニアの兵八百人を引て。ヲイヲを攻しむ諸聖東寡兵をもつて強敵と勇戦せしも我寶暦五年。英國の政官大兵を師ゐてきたるにおよんで諸聖東その兵にまじはり部将に任し。また一隊強兵を率て敵兵の貨糧を掠め奪ふ兵隊となり。力戦して大に功あり。聲價大に進み諸人これを敬せり。我宝暦九年任を解き権貴の一女を娶り。田里に歸り




ヲヒラの地（ち）に佛人（ふらんす）城寨（じやうさい）をきづく英吉利（いぎりす）を怒（いかつ）て大（おほい）に戦（たゝか）ふ

FLINSEN
ヘリンセン
OORLOG
ヲールロヘ

本業を修め最も意を学術に潜む我安永五年北亜墨利加人民英国を怨るより起り諸聖東自ら金銭を散らして兵備を償ふ安永七年彼の四月十九日。レキシングドンといふ地の戦ひにて亜墨利加の都人多く殺傷せらるゝにおよびてその五月十日諸士ヒラデルヒア國に會議して。諸州義勇の兵團を建つ諸聖東より外あへてその惣大将となるべきもの無きによりて衆ゝの諸聖東を推て都統とし諸聖東止るを得も再び軍に臨む此時にあたりて兵粮までも絶て軍卒必定ならず。散〻にならんとせるところ惣大将軍にのぞむと聞て おの〱色を喪し その精嚴の下知をまつ諸聖

東國事のこれに新兵を発して。敵を伐てこれを破り。衛くに味方の艱厄を救ひ平治を開く。諸聖東軍事に如して周詳。機を見て敵鋒を避る事最も法あり。其後策ある變に中て。ヘスレスが兵をテレントンの地に襲ひ。嘆利をフリンセンの地に劫し。其鋒先あたるべからず。嘆人怖れて退散せざるなれども。其兵威遠く諸州に加はるに至る。我安永九年カテーカの部内にて嘆國の軍兵を生捕しより。佛人よろこんで諸聖東が軍を援く。これによりて其勢ひます〳〵強し。我天明四年ヨルクトウンの地にて嘆國の軍兵。七千人を生捕にするに至りて勝敗はじめて定る。是なる諸聖東の大功なり。こゝにおいて嘆人も

制もくるはざるを知り。和議とゝのひて起る天明六年。佛國の都府巴里斯に於て和議成。本州遂に獨立國となる。諸聖東功成名遂上官の職を解んとも。同官ミなその恩を謝しその徳を懐ひ。懇にこれをとゞむれどもうけひかずも。決然として官を去りヒルキニアの田園に還り閑を樂むる事一二年本州とゝのひて治るといへども。制度いまだ建ず人心一ならざるをもつて。我寛政二年萬衆ヒアテルヒアの地に會合して。これを治むる事を議す。こゝに諸聖東を舉して重官に任しその事情に的切なる制度になくことがらんといふ。諸聖東萬衆の請に應じまくと起る事を視。制度を定む今日に至るを

其遵奉する所の政令ハミなその経定せしところなり。その翌年衆ミな新に會議して。諳聖東を會治の最上官に任じ。四年をもつて其期とし。任備るにおよんでまた更に四年を加へんと乞ふ。これにあくこゞが州内にハミルトンといふ者あり。衆にすぐれて明敏人なるが故に。これを擧て政を輔しむ。諳聖東任にあること八年。軍備足り家國榮え人ゝ太平をたのしミ。其の芳名遠く四方に達す。寛政十二年彼が十二月十四日其の田園に卒す。齢六十七歳。共和の國人ハ元よりて他國の人もをしまざる者なし。諳聖東上官の任備ち洒然として田園にかへるにおよびては。経済の術を韜ミ晦し。大功を立て

る氣色なるく。世ゝに遺れて恬淡年月を竟る。卒せるに臨んで遺言して奴隷をつかはし。大金を官に献じて大学を建てゝ。貧兒校を造らしむ。その葬宅は諸聖氏の別荘にありといふ

評に云諸聖東容貌高嚴。才は政官たるに足り。勇は都士人たるに足れり。その事にのぞんで百難起るといへども驚かず。忠は生命を顧ず政は國體を失はず。邦を高し民を富し。恩を施するの一日もこれを遺れず。その見解根據ところあり。また私見を主張せ。事を處て嚴正しかれども必ず仁あり。諸聖東の天性なり。実に大業をなし大功を建べき奇男

一也と謂つべし

新恩可齊亜

この州は暎國に隷せり。北はフレトン島に界し。西は新ブロンスに至りて大地につゞく。今分つて七國となし其府をハルリハキスといふ。人口八千零五十。その海岸に大港あり軍艦を維ぎて非常に備ふ。この地潮の満干最も大いなり。甚しき時は高さ四丈八寸におよぶといふ。その部内は土地高くして多く諸穀物を産し。氣候のさへて寒冷。朝夕は毎に霧ふかし。夏は炎熱英國に勝るといふ土人多くは西洋人の血筋。惣國の民口八萬余

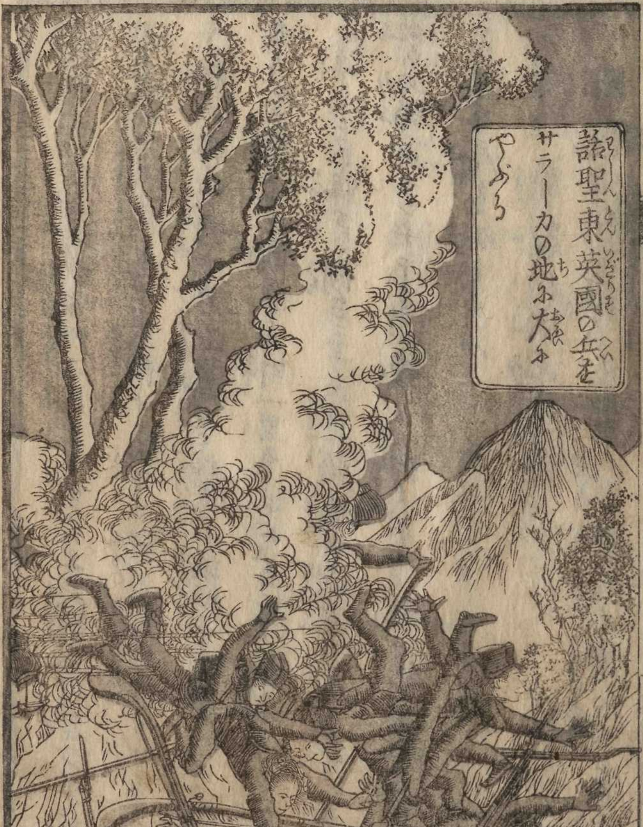
加拿太

加拿太　一名ゲベツク往古ハ伊斯國に屬す。三百十年前佛人暎國と謀り。遂に大擧してその地を奪ひとる。我宝曆五年暎人佛國と爭戰す。是時暎人一裨将をつかハしてその地を併有す。是より長く英國の領となれり。近六十年前土地の形勢によりて上下二部に分ち。中に三大府を措く。その上部ハ氣候はなハだ寒し。また大湖山岳深林あり。人口僅に六萬二千許にすぎず。その下部ハ土地膏沃にて所々に穀を産す。人口十二萬その地に總督鎭を建つ。ヨルクといふ。その首府をケベツクといふ。人口四萬また巨港あり大船を

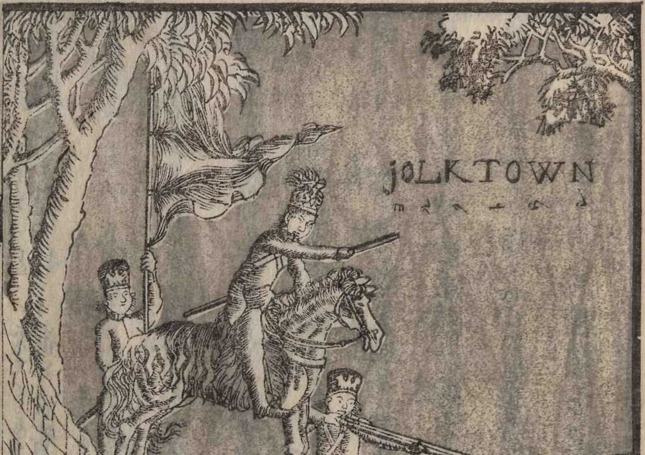
浮むべし。その共和政治州に界するところに大河あり。名づけて老楞佐河といふ。源ハ南方の二大湖より発し。或ハ大瀑布となりて天宇より灑り落ち。或ハ岩石の間を伝流れ蜿蜒とわだかまり。屈曲とかゞまりて流るゝこと。我三十六町一里にして七百二十一里余。こゝに至りて海に注ぐ。その海口の濶さ三十六里餘底の浅深ハ知るべからず。この地の北部にインデアネン二種と云野人あり。部落をなさず徘徊すに定ところに居を徙すとなす

新貌利太泥亜

此國（一名ラブラドル漢に譯して農地に作る）この地の人民長矮く體小く。その手足十



諳聖東英國の兵をサラーカの地ふ大ふやぶる


jOLKTOWN
ヨルクトウン

二三歳の小児の如し。面ハ白皙して容貌賤陋甚だ愚鈍なりその年数ふるに二千余に至れバ其数を忘るゝと云。また貴賤の別なく法度の制なし。唯強く猛くして多く女を仕ふるものを上とす。もし罪を犯すものあれバ衆人集りていやしめ辱しむ。これを極刑とす其人貯なく常に漁猟を業となす。もし不猟にて飢渇におよぶ時ハ自ら己が身を突破り。血を出しこれを吸ふ。また春の比日光の雪を照す時ハ。その照り射によりて人の眼にさはる故木に孔あけたる眼鏡を作りて。これをかけて眼疾をふせぐといふ。その言語粗臥児狼徳に同じ同種類なるべきなり。部中東方未審の地に大

山あり。巖石峨々とさがしく高く天に聳えり氣候最寒にして風景殆ど無人の郷の如し。されどもその海岸の地にハ。暎國の交易館ありて。此地の産物を集む。産物ハラブラドル石とて日光に觸れバいろ〳〵彩色の換る石。また好皮革の類あり

臥兒狼德

此域ハ氷野氷海の中に在り。部中南より北に亘り大氷山あり。人跡至るべからずまつた五穀を産せず。たゞ總て草卉および白熊を生ず。氣候酷寒し。冬に至れバ日中といへども常に薄暮の如し。今を距ること八百十年前。第那瑪尔加の人。はじめてこの地を撿出せしその

後その地の海濱北極出地六十四度。ハアルス河口のところに度々人種を移せしといへども。みなすぐに繁昌せず。その本土の人は新貌利太泥亜人と同族にして。自材は短く頭顱大きし黒眼褐面にして。常に弓矢または銛棒を携へ。至るところに漁猟をするも婦人身に皮をまとふことに敢男子のごとくなるなり。夏日は板屋に住し。水草の勝手につれて居を移し。冬は石造の矮屋に住む高さ六尺余長サ一丈二尺余幅勝手にあるがゆゑ。身は腰に机のやうなるものを置き。或はその上に臥し或は食物の用とせり。その屋に窓を開かずして男女常にその中に在て團坐。魚の油を燃して寒

氣を防ぎまた光明をとる。是をもつて臭氣こもりて甚だしといふ。冬分北風の吹時は寒氣殊に烈しく。驗温器凍點下四十八度の寒に至ることあり。近世和蘭人昜那人などこの地方に来りて鯨魚を取ること尤夥し。土人もまた此地に産するところの熊または海魚海獣いろいろの鳥類或は奇石等をもつて西洋諸州の諸種穀物茶麦酒。菜菓および木綿鐵器等に交易するといふ。すべて此地にある所の西洋人の血筋の者もまたおよそ二萬人ばかりあるといふ。

亜墨利加魯西亜異人

すべて北亜墨利加に住する異人。十四種の惣名をイニヂアン子ンといふ。

その風俗人物各國一ならず。その最も北地亜墨利加魯西亜に住める種をシヤウネヲといふ身材短く欺詐妄言を恥とせず。村落をなさず便にしたがつて流徙るその風俗は互に物を盗む。また漁獵を生とす。そのミスシスシツピ河の近辺に一種あり。イロセイ種といふ。その人強壮にしてその近隣の他種みなおそれ從ふ。また花地近辺に住める者をシヨウキス種といふ。天性悪質にして仁義禮讓の道あることを知らず獣畜同やうなりといへり

南亜墨利加洲

およそ米利幹の大洲把那麻の地峡より北亜墨利加洲とし。南

を南亜墨利加洲ともいふ。故に南亜墨利加といふハ把那麻の地峡より火地に至るまでの惣名と志るべし。その部中に暗得山あり。是すなはち世界第二の高山なり。その大山脈三岐となりその北部より南部に蟠屈す。その巓ハ赤道直下にて太陽に近しといへども春夏秋冬の別ちなく。四時ともに雪消ずその最も高き峯をシニボラッウといふ。その高さ我三十六町一里にて一里二町余あり。もとより是ハ海面を直下として直立に測りたる算なり。我享和三年西人ヒユニボルトといふ者、この山を測量して足跡その半腹にまでようやくといふ。その時自ら天下第一の高山とおもへりとかや（但し天下の高山といへるハ亜細亜の意貌山なり。暗得ハ第二の高山也）

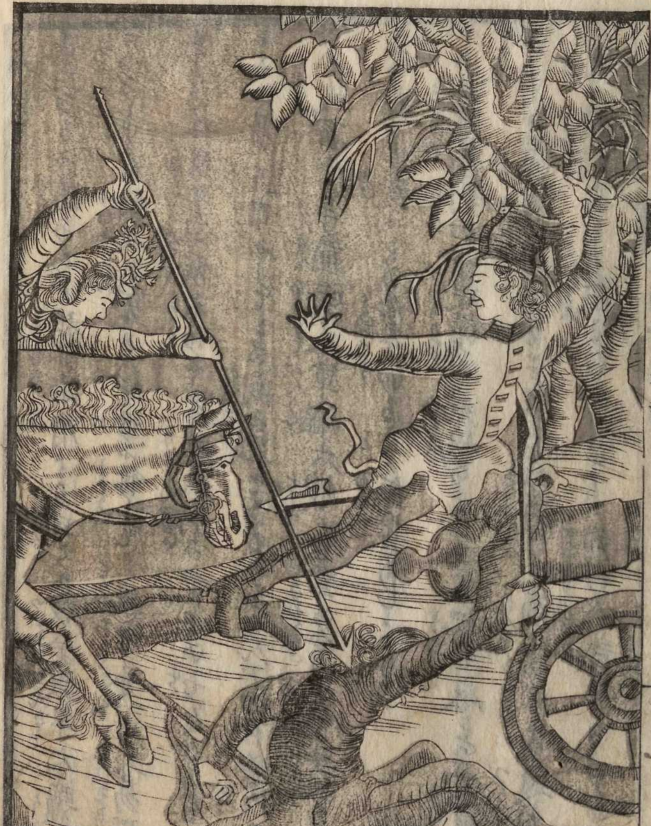
その山脈中間のところハ多くハ平地にして。夥しく金銀を出しよく銅鐵五穀を産す。こゝその山部ハ今に至りて野人の境界にして言語相通せざるもの多し。その地理風俗もさまざまにあるもの多し。その有名大邦の分ハ左の如し

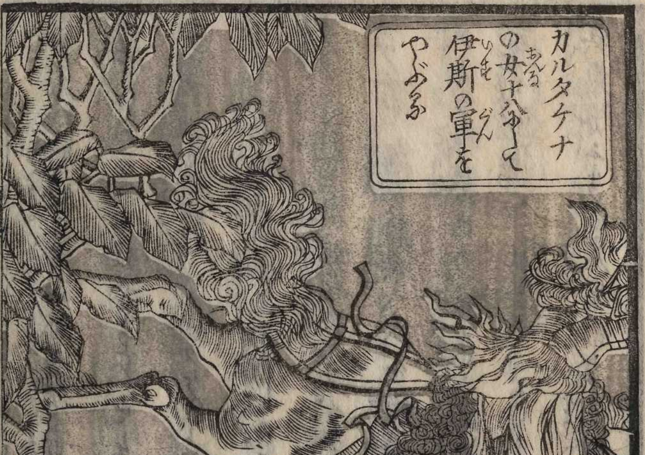
新厄辣那達

此國一名金加西蠟伊斯國に属す。今分て三大鎮八省府とす。その首府をホルトヘルロといふ。その地狭隘といへども。互市交易の繁昌限なし。一軒の地代數百金一度の食料一夜の宿料。互市盛なる時にあたりては。平生に十倍すその貨物を賣買するに權衡度量

を用ゆるに遑あらず。把那麻府より日々に板金銀竿を驢馬につけ來るもの百餘疋。是をもつて世に稱して世界中第一の交易場とす。しかるに此地氣候不和にして旅人病にかゝるもの少なからず。一年經に十四日の互市にして。その間に死するものほとんど四百餘人におよぶといふ。近百十年前嘆人軍艦六艘を牽來り。大に此地を乱妨せしかれども遂に。その志を得ること能はざりしとあり。

その北亜墨利加に連續く。地峽のところを把那麻といふ。地幅我里法にて十四里余あり。このところを切通して南北の船を通ずれば。至つての便利あるが故にむかしより。西洋人議するところなれども。此




カルタゲナの女(おんな)丈夫にして伊斯(いぎり)の軍(ぐん)をやぶる

ところハ暗得の大山脈を指寄くるが如き地なれバ。その野人ハ建に功をなすべくもあらざれど。その議はいまだ行はれざるとぞ。その内地の北海辺にカルタゲナといへる大府あり。人口二萬五十。先じわ此地獨立の小王ありしに。三百十年前伊斯人大擧して大に此地を乱妨せ。カルタゲナに女子あり年十八。その勇當るべからず。忽ち敵兵八人を殺傷せしといふ。この地の港の奥に堅固なる城寨あり。寇来る時ハ急に鐵の鎖を引渡して。その海門を閉るといふ。

其東方に小さき大府あり。小勿搦奈亜といふ。許多の小嶼あり。

土人嶋より島へいくつとなく大橋を連架して。往来に便ならしむ
その近辺カラカスの内部をアンタリユシイといふ。これハ伊斯人の此地を
とる時。一日此土の酋長たる者伊斯の出役名ハヒラアルシアスを招
きて饗應之出役ヒラカスシアス自ら伊斯酒を携へして。主人
をもてなす。主人その奸計あることを知らずしてほしいまゝにしてこれを飲む。
ヒラカルシアスその酔たるを見て即ち刀を抜て主人を刺殺し。出て
下人等に下知して火を放ちて。その館を焼しむ主人かくと聞衆を
率来りて。その伊斯人の船を攻む船の司シンコヨリ兵士三百人を
率ゐ。血戦して大にこれに克つ。されども其衆ハヒラカルシアスに[illegible]

をなして。これを擒にして數日の間食を與えず遂に饑死せしむるに於て土人シンコヨリの忠勤に感じ。はじめて伊斯國の命に從ふといふ

その亜瑪鑚川に近きところをコイア子といふ。伊斯人佛人葡萄牙人暎人この地を分ち領しも。その一部シュリナアムハまた和蘭に屬す。その廣袤ほとんど和蘭國の大になるに似たり。その府をハラマリポといふ。人口二萬人我寛政己未の度暎國に陷らるゝといへども。和議なりて。今ハことゞく和蘭の所有となりたりまたレンボラツの大山腹に一部落あり。祈多〆といふ人別五萬七千寺

院多し大学校もありて生徒を教ふ。世界中人烟の部落
ところ。この地より高きハなしといふ。この地ハもとハ自立の主あ
百十年前孛露王に併せられ。百十年前まで伊斯
伊斯國王の令によりて地を割て新瓦辣那多の
國過半山川曠野にして五穀に自由のところ
の内に乾濕の二ツ時節あるばかりにて。すべて熱地なり土人面色
深黒にして天性勇猛なり。常に裸體にしてよく水に飛入。その戦に
人ハ閒く草木の葉をもて僅にその陰部を覆ふとかや。其住宅ハ
極て大きく作る。一家或ハ八百人或ハ千人住むといふ。

米利幹新誌巻之上終

ノ彳

ムハまさ和蘭ニ属

り。その府をハラア

泊らるさとの人

四七千寺